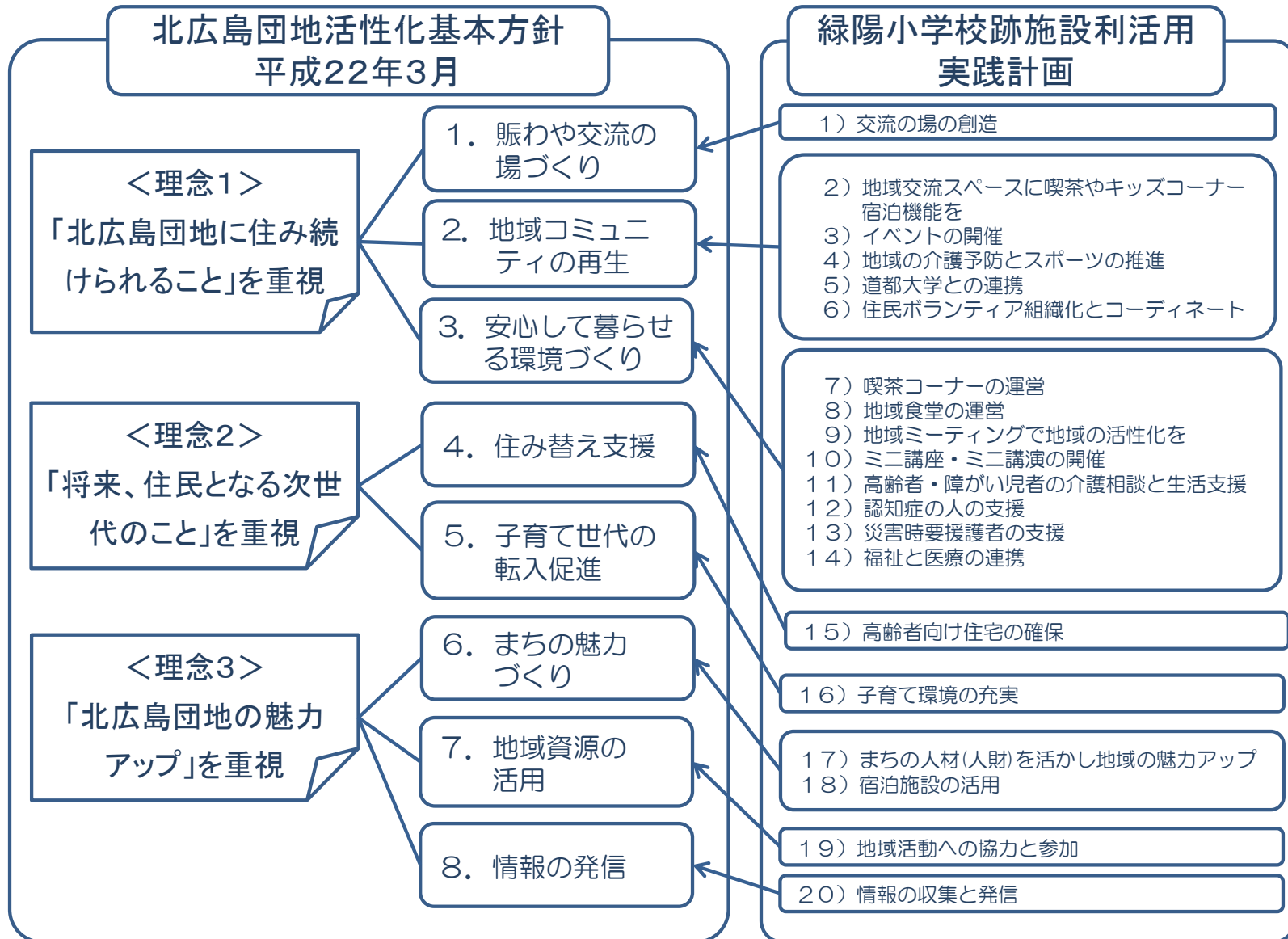


北広島市において、平成22年3月につくられた北広島団地活性化計画の基本方針に3つの理念があります。一つは「北広島団地に住み続けられること」、二つ目は「将来、住民となる次世代のこと」、三つ目は「北広島団地の魅力アップ」についてであります。当法人は、これらの理念のもと、小学校跡施設が持つ特性を有効に活用し、下記に示す取り組みを実践することで、地域の活性化に貢献いたします。



1) 交流の場の創造

提案内容

小学校跡施設を活用した交流の場づくりを地域の人と共に実践します。トリムコースにつながるエルフィンパーク交流広場・広葉小学校跡施設利活用などのエコミュージアム等の社会資源や隣接する公園の自然などを含む環境を大切にする取り組みや自然学習などの取り組みなど学校跡施設をキーステーションとしてつながりを創造して参ります。

実践報告

・平成25年12月（オープンの4ヶ月前）から活動を開始した「ともに市民スタッフの会」を中心に、地域のつながり、支え合いのために、「ともに」を拠点として何ができるのかを話し合ってきました。喫茶コーナーの運営とイベントの開催により地域の方々に多数ご来場いただいています。

・グラウンドに東屋（ガゼボ）設置しております。「大志さくら会」の方々が、グラウンドに桜の苗木を植樹してくれています。いろいろな方々に「ともに」の活動室、体育館、グラウンドを有効に活用していただき、自然豊かな北広島市の魅力を発信していきます。



喫茶コーナー



市民スタッフミーティング



グラウンドの東屋



桜の苗木を植樹

2) 地域スペースに喫茶やキッズコーナー、宿泊機能を

提案内容

地域交流スペースは、全体で525㎡となります。内訳は、喫茶コーナー（104㎡）、活動室1（64㎡）、活動室2（24㎡）、活動室3（32㎡）、活動室4（90㎡）、活動室5（60㎡）、玄関ホールにキッズコーナーを配置し、活動室は、宿泊できるようにします。

実践報告

・活動室・体育館・宿泊の利用状況は別紙＜資料3＞を参照してください。

・キッズコーナーでは、地域の子育て世代が遊びに来たり、月に1回子育て支援センターと連携して出張保育（まーぶるひろば）を実施しており、世代を超えて楽しんでいます。又、多くの小学生が放課後に体育館で遊び、玄関ホールは多世代交流の場になっています。



玄関ホール



レストラン・喫茶コーナー



体育館



キッズコーナー

3) イベントの開催

提案内容

喫茶コーナー、活動室、体育館を活用して、第4住区地域のお茶の間などの地域の人たちと連携し、コンサート、カラオケ大会、落語、手品や季節のイベントを開催します。定期的なイベントの開催は、同じ趣味・嗜好をもつ地域の方々の出会いの場や、再会を楽しみにする場になります。また、イベントが活発化することにより、企画・運営する地域の方々のやりがいにつながり、主体的活動が活発化します。

退職後の第二の人生で親しい友人がいない人、配偶者や友人に先立たれ一人で生活している人、子供と同居せざるを得なくなり友人のいない知らない土地に来た人などの、孤独を感じ、人とのつながりを強く求めている人たちが、定期的なイベントに参加することで自然と出会い、そしてつながっていきます。「この年になって友達ができると思わなかった。」「あの人と出会えて毎日が楽しい。」このような声が聞こえてくる空間にしたいと考えています。

実践報告

・ともに市民スタッフの企画イベント（地域の学芸会、地域の運動会、工作教室）が開催されました。又、毎月1回「第4住区地域のお茶の間」と連携して、お茶会を中心に各種講座、コンサート、体操などを開催しています。地域の方々と、ともに生活している方々、北広島市・石狩振興局・北海道職員の方々、法人職員と一緒に盛り上がり世代を超えて三位一体で交流を図っています。



ともに市民スタッフの会
地域の学芸会！



ともに市民スタッフの会
地域の運動会！



ともに市民スタッフの会
工作教室！



地域のお茶の間
みなみ支援センターの脳体操！

4) 地域の介護予防とスポーツの推進

提案内容

小学校跡施設の特性である体育館・グラウンドなどを活用して、地域の人たちだけではなく道内外の人たちが、バスケットボール・バレー・卓球・バドミントン・野球・サッカー・ソフトボール・ランニングや冬は歩くスキーを楽しむことができる場として子供の健全育成、障がい者の社会参加など地域のスポーツを応援します。また、体育館にトレーニングマシンを設置し、地域の方々の生活習慣病予防や介護予防と機能回復に取り組み、超高齢時代を楽しく生活できるよう支援します。

実践報告

・体育館グラウンドは、各種サークル団体、スポーツ少年団、障がい者団体、地域の小学生（放課後利用）などが、市内外から利用されています。

・ともに生活されている方々と地域の方々を対象に介護予防体操を実施しています。2,831名の参加がありました。

- ともに市民スタッフの会が運動不足になりがちな冬期に「地域の運動会」を開催しました。300名の参加がありました。
- ともに市民スタッフの会と健康推進員が連携し、「いきいき百歳体操」を実施しています。2,144名の参加がありました。



ともに健康体操
毎週（水・土）開催中です！



ともに市民スタッフの会
地域の運動会！



スポーツ吹き矢
呼吸法が健康の秘訣です♪



いきいき百歳体操
毎週（月・金）開催中です！

5) 星槎道都大学との連携

提案内容

北広島市にある星槎道都大学には、社会福祉学部・美術学部があります。地域交流スペースを美術学部の協力により絵画を展示したり、イベントへの協力、スポーツ系活動部と連携した障害者スポーツの推進、子育て世代の活動・支援を保育を目指す学生と連携、地域の課題解決や地域の魅力を創造する活動などを、知識・技術を持った大学教授や、若さとパワーを持った学生と、地域の人々、自治体と連携することで地域の活性化を進めていきます。

実践報告

- 星槎道都大学生には、「ともに市民スタッフの会」のメンバーとしてイベント運営などに関わってもらっています。
- 星槎道都大学1年生のとともに施設見学と体験学習の受け入れや、職員が講師となり星槎道都大学の授業に参加しています。（認知症サポーター養成講座の開催）
- 2019年4月2日、星槎道都大学との間で包括的連携協定を締結しました。介護初任者研修の共同開催。大学生のインターンシップ受け入れを行っています。
- 今後も地域の課題解決や地域の魅力を創造する活動に、継続的に参画してもらおう関係を築いて地域の活性化に取り組んでいきたいとおもいます。



認知症サポーター養成講座
星槎道都大学の授業に参加！

6) 住民ボランティアの組織化とコーディネート

提案内容

小学校跡施設で行う活動は地域の人たちの主体的・積極的な参加が意味をなすものであり、「人と人とのつながりから生きることの喜びを知ろう!」をテーマとして、地域の人たちと共に学び、共に語り、共に喜び、共に地域力を高める活動を実践していきます。地域には「人のために何かをしたいけど、どこへ行って何をしたら良いのかわからない」「この部分だけ手伝ってくれたら、この家で生活できるんだけど・・・」という人が沢山います。このような方々のためにも、地域の人と一緒に、人と人をつなげる活動をしていきます。そして、この共生の理念を理解した地域の人たちと共に、仲間を誘い増やし、安心して生活のできる喜びある豊かな地域社会となるよう努めて参ります。“支え合いから生きることの喜びを感じることが出来る価値”を大切に、住民ボランティアの組織化を積極的に進めて参ります。

実践報告

- ・住民ボランティアによる「ともに市民スタッフの会」のメンバーは、徐々に仲間を増やし現在37名となっています。又、「ともに市民スタッフの会」に加入していない市内に在住のボランティアの方々も、喫茶での歌声喫茶、書道教室などを行っていただいています。地域の方々自身が様々なことに取り組み、誰もが健康に、安心して暮らす事ができる街づくりを目指す活動を今後も進めていきます。
- ・「北広島市自立支援ボランティア制度」登録の方々には、平成26年10月から活躍いただいています。
- ・活動室、体育館をご利用の団体へ「ともにメンバー会員制度」（会員は利用料50%になる代わりに、ボランティア活動を実施する）を創設。「ともに」を拠点にボランティア活動していただくと共に、団体間の世代・障がいを超えた交流を促す取り組みです。



ともにメンバー会員の交流・ボランティア活動♪

7) 喫茶コーナーの運営

提案内容

喫茶コーナーは地域の方々を中心になって運営します。地域の方が地域の人に喜んでもらうために、こだわりのコーヒーや手作りお菓子などを提供したり、喫茶コーナーを綺麗な花や手作りの小物で飾ったり、掃除をしたり、一人で来られた方とゆっくり会話を楽しんだり、利用した人から「ありがとう」「とても美味しかった」「落ち着く空間ですね」「あなたがいると思って来てみました」「あなたの人柄で癒されます」という生の声が返ってくるような、“人のために何かしたいと活動する人の思い”を大切にする喫茶コーナーにしたいと考えています。

実践報告

- ・ともに市民スタッフの会が主体となって喫茶コーナーを運営しています。平成25年9月からスタートした週1回だった喫茶の営業は、現在週3回（月・水・金）の営業となりました。ともにで生活されている方々と地域の方々との交流が始まり、ともにの喫茶が地域における交流の場としての役割を担っております。



市民スタッフ イベント準備中です！



夏は親子で楽しく満席♪

8) 地域食堂の運営

提案内容

調理室の資源を生かし、ボランティアの協力のもと、食事を提供します。一人暮らしの人が地域の人と一緒に、会話を楽しみながら食事をとることが出来たり、調理をすることが困難な方に、温かい心のもった手作りの食事を提供し、一人暮らしの人が増えて行く状況において、「家族ができたみたいだ」「みんなで食べるとご飯がおいしい」という家族のぬくもりを感じる事が出来る地域食堂にしたいと考えています。

実践報告

・喫茶では、軽食（パスタ4種、プチココアロール、おにぎり各種、卵スープ、かき氷）を販売しています。新メニューのたい焼きも大好評です。



「美味しくて安い」と大好評の
パスタとたまごスープ♥

9) 地域ミーティングで地域の活性化を

提案内容

子ども・子育て世代・高齢者・障がい児者などの地域の人を中心に、星槎道都大学、商店、企業の方々と一緒に、地域の課題解決に取り組み、住み良い楽しい地域をつくります。この取り組みを継続しながら、住民主導の活動が活発化するようコーディネートします。“世代や障がいを越えた交流と、協働することの価値”を体感できる機会にしたいと考えています。

実践報告

- ・現在3つの販売業者の協力を得て、ともに内で移動販売を行っています。地域の方々にも徐々に浸透しており、住みよい地域づくりに今後貢献していきます。
- ・「チームてとる（地域の生活課題を解決するワークショップ）」で、バス停を中心に木製ベンチ設置活動に参加。
- ・「北広島だいこんマンボ」！世代・障がいを越えたつながりづくりを目標に精力的に活動中。第4住区のお祭りにも出演しています。
- ・継続的地域協議を契機に、地域の課題解決にむけて、地域の方々や社会資源と連携しながら住み良い楽しい地域をつくります。



白樺高等養護学校の生徒が作成した木製ベンチ！



だいこんマンボでみんなひとつになろう♪



ショッピングつむら新鮮野菜とつけき隊



さやのちゃんのパン



ヤクルト販売

10) ミニ講座・ミニ講演の開催

提案内容

毎月2回程度、法人の持つ専門的な社会資源と知識・経験を活かし、福祉や医療の講座を開催します。少人数制のミニ講座の開催により、参加者の方の個別のニーズに対応し、地域の人が生活に必要な知識・技術を提供すると共に、地域の人が抱えている課題を一緒に考えて行く場にします。

実践報告

- ・「介護職員初任者研修」を年1回星槎道都大学と連携して開講しています。北広島を支える介護の専門職を養成しています。
- ・毎年開催しているとともに市民講座。加藤先生と厚別警察署を招き免許返納について考える講座を開催しました。
- ・その他にも、法人職員が講師となり緑ヶ丘小学校、双葉小学校、緑陽中学校、道都大学等へ出向き、車椅子学習や認知症サポーター養成講座を開催しております。



介護職員初任者研修



免許返納について考える市民講座

11) 高齢者・障がい児者の介護相談と生活支援

提案内容

孤立化する地域の人をつなぐの構築や生活課題の解決に向け、緑陽小学校跡施設で事業を行う、居宅介護支援事業所・訪問看護事業所・訪問介護事業所・複合型サービス・認知症対応型共同生活介護事業・サービス付き高齢者向け住宅の専門的知識と経験を有する職員が、生活相談、介護保険法・障害者自立支援法や介護全般の相談、認知症の方やその家族への支援、医療相談、施設入所の住み替え相談など、幅広く地域の人たちの相談に対応します。

実践報告

- ・今後も、当法人が有する事業所をあげて、サービスを必要とする方々やそのご家族、地域を支えていく取り組みを継続していきます。
- ・北広島市主催の「ふくしのお仕事合同相談会」に参加。福祉事業所の職員採用を応援していただいています。又、北広島市民の雇用を促進しています。
- ・北広島ホームヘルプサービスステーション四恩園は、公的な訪問介護サービスだけでは生活が困難な方のニーズに応え、独自のサービス「ゆたかさプラス」を実施しています。



ゆたかさプラス「ゆたかさプラス」



ふくしのお仕事合同相談会

1 2) 認知症の人の支援

提案内容

地域の人、北広島市高齢者支援課・地域支援センター、小学校跡施設で事業を行う居宅介護支援事業所・複合型サービス・認知症対応型共同生活介護事業が連携し、地域で暮らす認知症の方とその家族を支えます。「徘徊する家族が心配で目が離せない」「大切な家族を受け入れてくれる施設がない」「少しでも良いから介護から離れて休みたい」という訴えに対応するためにも、認知症サポーター養成講座により認知症サポーターを積極的に養成して、認知症の正しい理解と対応について地域に啓蒙し、地域の人と一緒に、認知症になっても安心して暮らすことのできる地域づくりに努めます。

実践報告

・平成30年度の認知症サポーター養成講座は、小学校、中学校、大学、市役所、銀行、その他団体で開催しています。この活動は認知症支援合いセンターを中心に福祉に従事する方々がボランティアで行っています。この取り組みは平成18年からスタートし、講座回数173回、受講者は6,619名になりました。

1 3) 災害時要援護者の支援

提案内容

災害時要援護者の方々が安心して暮らすことのできる仕組みづくりを、住民、北広島市、法人三位一体となって検討していきます。災害時要援護者の方々の具体的避難支援プランを、本人を中心に近隣住民、北広島市、法人で作成し、それを基に避難訓練を行うなど、緑陽小学校跡地が位置する第4住区を中心とした取り組みができるよう努めます。日頃から、災害時要援護者であっても顔の見えるつながりを構築できるよう努めます。

実践報告

・地域サポートセンターともには、災害時にはグラウンドが一時避難場所に、体育館が収容避難場所に指定されております。また、北広島市役所と福祉避難所の契約も締結しています。今後も地域の防災拠点としてつながりをつくりながら地域の防災、支援合いの仕組みをつくっていきたいと考えています。

・毎年、防火訓練、地震想定訓練を行っています。お客様、地域の方々、職員が一緒になって訓練を実施します。

・災害時の助け合いの仕組みをつくっている自治会があります。災害時要援護者を中心とした災害時の助け合いの仕組みは、普段の日常からお互いを気に掛けるつながりをつくることができます。日常の見守りにおいて、「監視されているみたいだ。」「個人情報保護の関係で難しい。」との声が多いなか、支援合いの仕組みづくりの糸口になるのではないのでしょうか。



防火訓練！知ってるつもりでも上手く扱えない消火器！

14) 福祉と医療の連携

提案内容

今後到来する超高齢社会に向けて、福祉と医療の連携のもと北広島市における地域包括ケアシステムの構築の一翼を担います。医療機関との連携と法人の持つ知識と経験を生かして、介護が必要になっても住み慣れた地域で生活を続けられるよう、小地域における包括的在宅ケアの仕組みを構築できるよう努めます。

実践報告

・北広島市と連携のもと平成29年度からスタートした日常生活支援総合事業を開始し、地域包括ケアシステムの構築を一層進めていきます。

15) 高齢者向け住宅の確保

提案内容

小学校跡施設にサービス付き高齢者向け住宅31室と、認知症対応型共同生活介護事業18室を建設します。今後、認知症の人の増加や、一人暮らしや高齢者のみ世帯が増加するとされる北広島市の課題と、そこに住む地域の人々の不安に対応するために、サービス付き高齢者向け住宅・認知症対応型共同生活介護事業への住み替えを含めた、介護と生活全般の課題に対応します。

実践報告

・北広島市団地高齢化率は45.2%（2018.11.30）。今後も認知症の人や一人暮らし高齢者などの生活課題に対応していきます。

	定員	入居者	平均年齢	平均要介護度	待機者
グループホーム	18人	18人	90.9歳	3.10	24人
サービス付き高齢者向け住宅	31室	34人	85.0歳	1.44	30人

16) 子育て環境の充実

提案内容

キッズコーナーや活動室などを活用し、子育て支援センター・NPOなどの子育て支援団体と連携しながら定期的なイベントを開催します。また、当事者である子育て世代や地域の人々が中心となり、イベント・講座の開催・地域活動など、子育て世代に魅力ある地域にするための取組みを一緒に行います。子育て応援のまちをつくるために、地域の子育てする親御さんと、地域の宝である子どもを地域で支える拠点にしたいと考えています。

実践報告

・キッズコーナーでは、地域の子育て世代が遊びに来たり、毎月1回、子育て支援センターと連携して出張保育（まーぶるひろば）を実施しています。



まーぶるひろば
世代を超えて楽しい交流



かおり幼稚園の子ども達♪
花の口です

- ・毎年2回、かおり幼稚園の園児が遊びに来てくれます。

17) まちの人材(人財)を活かした地域の魅力アップに

提案内容

北広島市には素晴らしい知識・技術・経験をもった貴重な人材がたくさんおられます。その方々と連携しながら、北広島市の誇る自然や動物、農業、文化、歴史などの市民講演会を定期的で開催します。そして、これらの地域の財産を次世代に継承する取組を地域の人と一緒に行っていきます。この取組みを継続することで、北広島市の人の森をつくっていきます。

実践報告

- ・ともに人を喜んでもらえる場所にしようと、綺麗な花や、木の置物、繊細な切り絵などを、ともに市民スタッフや地域の方々が飾ってくれています。ともにガーデンが初めての「花のまちコンクール」にて優秀賞をいただきました。



癒しのともにガーデンとトマト畑♪



いたるところに綺麗な花が♪



木の温もりが伝わってきます♪



夏休み自由研究講座を開催♪

18) 宿泊施設の活用

提案内容

地域の人たちだけではなく道内外の人たちが利用することができる宿泊施設にします。トリムコース沿いに出来るエコミュージアム(広葉小学校跡利活用)や、北広島市の森・花・鳥・農業・文化・歴史などのまちの魅力を発見する宿泊体験、スポーツ合宿、企業の宿泊研修などに活用できる場をつくります。小学校跡利活用により、子供の健全育成、障がい児者の自立と社会参加、生活習慣病予防や介護予防、世代間交流など、北広島市の魅力を発信して参ります。

実践報告

- ・スポーツ少年団夏休み合宿や、星槎道都大学生の過酷な国家試験対策合宿にご利用いただいています。



活動室が落ち着く宿に早変わり♪

19) 地域活動への協力と参加

提案内容

今後も地域の活動や取り組みに積極的に協力・参加していきます。第4住区自治会、民生児童委員、地区社会福祉委員会、単一自治会などで行っているイベントや取り組みを応援します。



実践報告

- 第4住区夏祭りへは毎年四恩園として参加させていただき、地域の方々と一緒に楽しませて頂いております。

第4住区夏祭りでだいこんマンボ♪

10

20) 情報の収集と発信

提案内容

地域向け情報誌の定期的発行とホームページを活用して、小学校跡施設でのイベントや取り組みと北広島市の魅力を、地域の人たちだけではなく道内外の人たちにも情報発信します。生活、趣味、介護などの情報や生活に役立つ情報を提供し、地域の人たちの役に立つ喜ばれる情報を発信します。

実践報告

- 毎月1回ともに通信を発行しています。
- 四恩園公式ホームページ。 <http://shionen.or.jp>
- 施設見学・・25団体 255名 道外からもたくさんの団体が訪れました。



ともに通信 毎月発行



四恩園の職員集合です！

